

# 地域おこし協力隊



1 月13日、人  
生初の出

初式が終了しました。制服に身を包み、敬礼している自分が他人のようには感じました。



3年前、自分がこうして消防団の一員として出初式という場所にいること。まったく想像していませんでした。団長がお話していた「自分の地域を、自分たちで守る」という言葉が、胸に残りました。

自分は今までずっと横浜や東京という地域で生きてきましたが、その地域を自ら守るという認識も、機会もなかった。それは誰かに依存していることであつたとも思います。しかし、考えてみれば、村や都市など地理上の区別に関わらず、自分の地域をまず、自らが守るということは、当然のことだと思えます。消防団に入隊させて頂いた方々に御礼を申し上げます。(大野航輔)

1 月14日野  
原のどん

どん焼きに参加しました。1月12日に材木を会場となる



畑に集め、14日午前から団子を作り、夕方暗くなつてから火をつけました。

集落の人へのお知らせ、燃やす場所探し、材木や竹の手配、団子を刺す木の手配、団子作り、これらは集落の人たちの協力があつてこそできるのだと感じました。

集落の方々が持ち寄つたお酒や干し柿、漬物などを食べながら、炎を囲み話をし、そして団子を焼く、楽しい時間でした。

人が減つたこともあり、集落単位の行事が途絶えてきている中で、このような昔からの行事が残っている野原集落に家族で住むことができて本当によかつたと思つています。

(千々輪岳史)

協力隊として早いもので8か月が過ぎました。今ちよ



うど来年度以降の協力隊活動計画を練つています。そんな事をしながらも、道志村の各地で増殖する竹林を眺めていたら、この竹を有効活用したいと思ひました。

そこで思ひついたので、『竹スピーカー』と『竹ランプ』です。この2つをさつそく作つてみたいと思ひます。うまくいけば竹林の整備にもなりま

すし、商品化して販売、さらには体験プログラムとして村外へのPRに役立てる事もできたりと可能性を秘めていきます。まずは上手に簡単に作れるように試行錯誤を始めていきます。

ご興味があれば一緒に『竹ランプ』作りませんか？竹林でお困りの方も伐採に協力しますので、協力隊井口まで連絡ください。(井口陽介)

穴蔵を使った味噌づくり！

先日風呂場が凍つていてお湯が出ず、あやうく全身が凍りそうになりました。寒さ厳しい道志の冬を強く体感しました。

さて、今月はいよいよ穴蔵を使って麴をつくる。昔ながらの味噌づくりに挑戦しようと思つています！穴蔵でつくる味噌はほのかに燻された香りがあり、それが薫製のようにいい味を出しているように思ひます。味噌で3〜4日かかるという麴づくりの作業。手間と時間をかける分、うまい味噌にしたいです。

道志村では味噌は買うのではなく、つくつた方がおもしろいなと思ひました。(中寫拓哉)



1 月13日、体験農園でおこなわれた



どんど焼きにおじゃましました。前月から郷土史を語る会のみなさんで材の調達や当日の段取りが話し合われ、前日からの豚汁の準備やお団子づくりなど、多くのかたの参加で成り立っていることが分かりました。また、団子をさす木はヤマボウシの木(ヤマツカ、ダンゴバラノキ)と決められているなど、一つひとつに決めごとや意味があることを教えていただきました。当日は村内外から多くのかたが訪れて大変にぎやかでした。

翌々日には飾つていたお団子を木から外し、どんど焼きに参加したみなさんでお汁粉にしてくださいました。一連の行事におじゃまさせていただきました。次回はしめ縄づくりにも挑戦してみたいです。(香西恵)